

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社取締役会は、毎年取締役会の実効性評価を実施しております。各取締役・監査役から示された評価や意見を取りまとめ、取締役会全体が適切に機能しているか検証するとともに、認識された課題について改善状況を継続的に検証し、実効性の持続的な向上を図るものです。

2023年度の実効性評価結果の概要について以下の通り開示いたします。

1 評価の方法

- (1) 各取締役・監査役にアンケートを配布し、無記名の回答を得る方法（全52問）
- (2) 独立社外取締役5名、及び社内取締役2名を対象に個別インタビューする方法（各1時間程度）
- (3) 上記(1)、(2)の実施に関し外部第三者機関を起用
- (4) アンケート及びインタビュー結果を基に、取締役会においてディスカッション
- (5) アンケートの主な内容

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ・ 取締役会のあり方 | ・ 社外取締役のパフォーマンス |
| ・ 取締役会の構成 | ・ 取締役・監査役に対する支援体制 |
| ・ 取締役会の運営 | ・ トレーニング |
| ・ 取締役会の議論 | ・ 株主(投資家)との対話 |
| ・ 取締役会のモニタリング機能 | ・ 役員自身の取組み |
| ・ 社内取締役のパフォーマンス | ・ 指名委員会・報酬委員会の運営 |

2 分析・評価結果の概要

総じて、取締役会は実効的に機能していることが確認できましたが、次の観点で、改善のための行動が必要であると評価しました。

- ・ 監査等委員会設置会社への移行を契機として、取締役会付議基準の見直しを順次進め、取締役会における中長期戦略の議論と中期経営計画の進捗状況フォローアップをさらに充実させること。
- ・ グループガバナンスの実効性強化に向けて、グローバルな子会社管理及び内部監査の体制の更なる増強が必要であること。

3 分析及び評価を踏まえた今後の課題及びその対応

- ・ 取締役会のモニタリング機能の一層の向上にむけ、ガバナンス体制強化を進めるとともに業務執行サイドへの権限移譲を徐々に進め、取締役会でのサステナビリティ等中長期的戦略の議論及び中期経営計画の進捗状況フォローアップの充実を図る。
- ・ グループガバナンスの実効性を高めるため、グローバルな子会社管理及び内部監査に関し、組織と人材の両面から強化を図る。

以上